

授業概要

管理会計は、経営者の意思決定に有用な会計情報を提供するための会計である。言い換えれば、経営者が経営上の諸問題を発見し、解決するために重要な会計である。本講義は管理会計の基礎的な知識の習得を目的として講義する。

本講義ではただ単に管理会計の技法を扱うだけでなく、管理会計が歴史的にどのように発展してきたのか、組織や経営の変化とどういう関係にあるのかという観点も含めて、説明する。講義後、できるだけ受講生の理解を深めるために課題を行う予定である。なお、受講生の反応みて内容や講義方法を変更することがある。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	管理会計の概要・意義について
第3回	管理会計の歴史
第4回	意思決定の定義とプロセスについて
第5回	財務諸表分析① 収益性の分析
第6回	財務諸表分析② 安全性の分析
第7回	財務諸表分析③ 生産性・成長性の分析
第8回	利益管理① 短期利益計画
第9回	利益管理② 損益分岐点分析
第10回	設備投資の意思決定① 設備投資の分類と評価
第11回	設備投資の意思決定② 設備投資の経済性計算
第12回	原価管理
第13回	プレゼン①
第14回	プレゼン②
第15回	まとめと復習
第16回	試験

到達目標

受講生はまず、管理会計の全体像を理解することができる。次に、具体的な管理会計手法を理論的および実践的に理解することで、企業経営における様々な意思決定とその方法を習得できる。

履修上の注意

後期の管理会計論 II も合わせて受講することが望ましい。

予習復習

予習復習は各自必ず行うこと。

評価方法

期末試験によって評価する。講義中に行う課題も評価の対象とすることもある。
 期末試験 80%、課題・プレゼン等 20%

テキスト

藤井則彦著（2011）『財務管理と会計―第4版―』中央経済社